



金亀会報

令和7年3月1日発行
発行所
滋賀県立彦根東高等学校
金亀会
滋賀県彦根市金亀町4-7
TEL&FAX0749-23-0888

印刷所
ヒコハシ
彦根市城町1丁目4-12



▲今の授業風景（令和5年）



▲女子の指定制服がなかった頃の授業風景（昭和50年代）



▲彦中寄宿舎での様子（大正8年頃）



▲台湾への修学旅行（令和6年）



▲ボート大会（昭和50年代）



▲廊下学習（昭和60年代）

学校生活の今と昔



金亀会HP



学校HP

【令和6年度生徒の出身中学校市町別人数】

彦根市約270人 長浜市170 東近江市110 大津・草津・守山・栗東・野洲市160
近江八幡市110 米原市60 蒲生・愛知・犬上郡30 他市・国立・県立・私立等50



動画で見る彦根東高校



ごあいさつ 創立150周年に向けて

金亀会会長 上田 健一郎(東28)

金亀会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝でご活躍のことと心よりお慶び申し上げます。平素より母校の発展ならびに同窓会活動に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年2024年10月9日文化庁から「彦根城」に係るイコモス事前評価結果についてのお知らせがありました。「彦根城」は、世界遺産の新規登録についてユネスコが新たに導入した「事前評価制度」に則った日本で最初の申請を行い、その事前評価結果がようやくユネスコの諮問機関であるイコモスから通知されました。

その概要を拝見しますと、「イコモスは、推薦戦略を徳川期日本における大名統治システムの重要性に置いたことを支持する」と書かれており、また「彦根城」は世界遺産の評価基準(ⅲ)を満たす可能性があることも示唆されました。すなわち、今回申請した推薦書案の一番の柱である不戦の時代の地方政治拠点としての『大名統治システム』が、世界遺産の評価基準(ⅲ)を満たす可能性があります。あると認められたと解釈できます。

しかしながら、17世紀から約250年間にわたって、安定した社会秩序を形成維持した江戸時代の名による政治の仕組みを象徴的に伝える「城」として、①二重の堀と石垣 ②天守 ③御殿 ④重臣屋敷 ⑤大名庭園 この5つの物証を備え、江戸時代の政治の仕組みを体感できる「城」は今や彦根城が唯一であることから、彦根城単独で国内推薦に向けて提出されるようです。母校が位置する彦根城一帯が、世界遺産に登録されることを願ってやみません。

世界遺産の話題だけでなく、今年44年ぶりに国スポ障スポが滋賀県開催となりわたるSHIGA輝く国スポ障スポとして彦根が主会場となり平和堂HATOスタジアムで開閉式が行われます。生徒



ごあいさつ

彦根東高等学校 校長 伊吹 直樹

金亀会会員の皆様には、ますますご健健にて各界でご活躍のこととお慶び申し上げます。平素より彦根東高の教育活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度も彦根東高は、滋賀県各地から集まる生徒が校歌の「求めよ普く 究めよ深く」のとおり、幅広い教養を身につけ、探究心をもって楽しく学んでいます。私は

の皆様はじめ滋賀県選手の活躍や滋賀県民の活動も大いに期待し楽しみにしたいと思います。

さて、母校は、明治9年8月の創立以来、来年令和8年(2026年)には創立150周年という大きな節目の年を迎えます。創立150周年を迎える高等学校は全国的にも少なく、滋賀県内では1番目となります。この節目の年に向けて、母校の発展に資する事業について検討を重ねてまいりました。現段階で決定した事業につきましては、同封の特別号でご紹介等を掲載させていただきますので、是非お読みいただきませうお願い申し上げます。

結びに、金亀会の伝統は多くの諸先輩方の活躍により培われてきました。会員皆様のご健勝を祈念するとともに、母校のより一層の発展ならびに当会の活動に對しまして、今後もご指導ご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

校長として、ほぼ毎日、授業や部活動での生徒の様子をみて歩いていきます。明るく活発な生徒もいれば、無口で沈黙考の生徒もたくさんいます。多様な生徒がお互いを尊重しながら切磋琢磨し、自立・協働・創造する力を伸ばしています。その成果は、大学進学はもとより、部活動においても多くの部の全国大会や近畿大会出場につながって

います。

振り返れば、『彦根東高等学校百二十年史』には彦根藩と赤鬼魂について、井伊直政が徳川四天王の随一として勇猛果敢に戦ったその精神を赤鬼魂と称したとされています。今も彦根東高では先頭に立って活躍する、何事にも屈しないチャレンジ精神として継承しており、すべての教職員は、同窓であるなしによらず勤めた学校こそ我が母校として、生徒の挑戦を支えています。



近年では、2学期制(平成8〜27)、65分授業(平成10〜14)、土曜授業(平成14〜)、55分授業(平成15〜23)、50分7限授業(平成24〜)、スーパーサイエンスハイスクール指定校(平成16〜令和3)、ワールド・ワイド・ラーニング開発拠点校(令和4〜6)、DXハイスクール(令和6〜)など、生徒と教職員が力をあわせて、常に滋賀県高校教育改革の先陣を切つて魅力と活力ある学校づくりを推進しています。

そして、令和8年度には創立150周年を迎えます。令和6年10月にイベントとして田原総一郎氏(東1回)の特別講演会「時代をよむ」を実施し、全校生徒を激励していただきました。さらに、金亀会の上田健一郎会長様、

細江正人顧問様、中村直樹副会長様を中心に、金亀会奨学財団を設立していただきました。彦根中学彦根東高の諸先輩が築き上げた歴史と伝統を継承しつつ、グローバル化、デジタル化への挑戦など新たな学校づくりにつなげる節目にしたいと考えます。生徒の生き生きとした教育活動の維持推進のため、ご支援いただきますようお願い申し上げます。我々教職員も彦根東高のさらなる発展に一層尽力してまいります。



最後になりますが、全国の若手の卒業生も含めて金亀会会員の皆様には、5月の金亀会総会、滋賀金亀会総会をはじめとして、東京金亀会(6月)、東京金亀会(7月)、関西金亀会(10月)の各総会にご出席いただき、母校への思いを語り会員間のつながりを深めてほしいと思います。卒業学年ごと、部活動ごとに同窓会を開催していただき、学校の見学にも来てほしいと思います。今後とも、皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げますとともに、彦根東高へのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



◇生徒といるときが一番楽しい
昭和時代は面白い先生が多かった
私の子供時代は、浅井町（現長
浜市）で育ち、家には一町歩ほど
の田んぼを耕していて7人兄弟で
百姓ばっかりしていた。高校に入
り、みんながとても勉強すること
に驚いた。群れることよりも一人

恩師だより

今だけの勉強でなく
生涯学びを続けよう



《プロフィール》

昭和十八年 生まれ

虎姫高・慶応義塾大 卒業

出版社勤務を経て、滋賀県の高等学校英語教員として彦根東高、虎姫高に赴任

彦根東高では全日制と定時制あわせて30年間勤務
退職後は私立高で勤務

津布良 忍

◇定時制課程の勤務
彦根東高には昭和23年から68年
間、夜間定時制課程が設置されて
いました。私が勤めた3年間は1
学年20人ぐらいで、第1本館3階
に全日制との共用教室があり、17
時から定時制が使いました。

になって本をたくさん読んだ時期
であった。大学時代には人格的に
尊敬する友人がいて「落ち着いて
勉強するとよい」と教えてもらい、
その友人の兄から英文学の学び方
を教えてもらった。
彦根東高の全日制で先生という
職業を始めた。その頃の彦根東高
には面白い先生が多くいて、それ
ぞれが持ち味を発揮していたよう
に思う。英語を教えることは居心
地がよく、自分の性格に合ってい
る仕事であり、生徒といるときが
一番楽しかった。



全日制でもやんちゃな生徒の相
手をよくしていました。さらに
定時制では、50歳を過ぎて入学さ
れた方や働きながら高校卒業を目
指す生徒など多様な方々がいまし
た。英語の授業、給食、行事など
で、一人ひとりと楽しく関わり、
貴重な経験となりました。

◇昔の生徒は強かった
今では大昔のことですが、昭和
時代はベビーブームなどで人口増
加が続いた。そして日本は貧しか

った。私が彦根東高に赴任した昭
和40年代は、車で通勤する先生は
二人ほどしかいなかった。どの家
庭も余裕がなく、生徒は「自分で
勉強して、自分の力で生きてい
く」心構え、自学自習を確立して
いた。お金がないから本も大事に
したし、女子は制服はなく家にあ
るものや中学校の制服で登校して
いた。昔はあらゆる面で強かった
と思う。



平成時代は日本が豊かになり、
社会教育力が落ちていったように
思う。学習の面でも生活の面でも、
他人に任せるとような甘えを家庭や
社会が許していったようにも思う。
先生が忙しくなっていた頃でも
ある。一方で、豊かになった分だ
け生徒の表情はとて明るくなっ
たように思う。今の生徒は昔の生



徒より、いろんな面で外からの圧
力が無くなり、純粹で悪気がない。
いつの時代も、彦根東高の生徒の
頭や能力は優秀であり、一度言っ
たことはパツとできる。能力を無
駄にしないしてほしい。

◇彦根東高に勤めたことに感謝
創立150周年を迎える歴史と
伝統がある彦根東高の全日制と定
時制の両方に長く勤務できたこと
を嬉しく思います。30年間はいい
思い出ばかりで、生徒の成長して
いく姿が楽しみでした。昨年の8
月に、担任をした学年の同窓会に
恩師として参加できました。教え
子とのつながりは今でも大切にし
ています。
卒業生や在校生の皆さん、今だ
けの勉強でなく、生涯学びを続け
てください。皆さんにはたくさん
の時間があります。くたびれたら
一服して、またがんばればよい。
皆さんのご活躍と彦根東高のます
ますの発展を祈念しています。
(写真は事務局)

令和5年度 金亀会一般会計収入支出決算報告書

(収入の部) (単位: 円)

Table with 5 columns: 予算科目, 予算額, 収入済額, 差引増減額, 備考. Rows include 入会金, 会費, 雑収入, 繰越金, 合計.

(支出の部)

Table with 5 columns: 予算科目, 予算額, 支出済額, 差引額, 備考. Rows include 事務費, 通信費, 総会費, 会議費, 旅費, 渉外費, 事業費, 激励費, 繰出金, 雇用費, 予備費, 合計.

収入総額 7,066,795円-支出総額 6,585,056円=残額 481,739円(令和6年度へ繰越)

令和5年度 金亀会基金会計収入支出決算報告書

(収入の部) (単位: 円)

Table with 5 columns: 予算科目, 予算額, 収入済額, 差引額, 備考. Rows include 繰越金, 繰入金, 寄付金, 雑収入, 合計.

(支出の部)

Table with 5 columns: 予算科目, 予算額, 支出済額, 差引額, 備考. Rows include 激励費, 海外研修事業, 後援会激励金, 周年事業費, ホームページ開設費, 雇用費, 計.

収入総額 16,461,911円-支出総額 2,343,550円=残額 14,118,361円(令和6年度へ繰越)

令和6年度 金亀会一般会計収入支出状況 (12月末)

(収入の部) (単位: 円)

Table with 5 columns: 予算科目, 予算額, 収入済額, 差引増減額, 備考. Rows include 入会金, 会費, 繰入金, 雑収入, 繰越金, 合計.

(支出の部)

Table with 5 columns: 予算科目, 予算額, 支出済額, 差引額, 備考. Rows include 事務費, 通信費, 総会費, 会議費, 旅費, 渉外費, 事業費, 激励費, 雇用費, 予備費, 合計.

収入総額 4,072,707円-支出総額 2,574,538円=残額 1,498,169円

令和6年度 金亀会基金会計収入支出状況 (12月末)

(収入の部) (単位: 円)

Table with 5 columns: 予算科目, 予算額, 収入済額, 差引額, 備考. Rows include 繰越金, 寄付金, 雑収入, 合計.

(支出の部)

Table with 5 columns: 予算科目, 予算額, 支出済額, 差引額, 備考. Rows include 激励費, 海外研修事業, 周年事業費, ホームページ管理・維持費, 雇用費, 繰入金, 計.

収入総額 14,124,629円-支出総額 6,069,710円=残額 8,054,919円

令和5年度 会計監査報告書

令和5年度滋賀県立彦根東高等学校金亀会の一般会計及び基金会計について、各会計の決算書を基に関係諸帳簿、預金通帳及び収入支出証拠書類等の監査をしたところ、いずれも適正に処理されており、正確であったことを認めます。

令和6年4月19日

金亀会会計監査 安居 継彦(印) 青山 裕史(印)



講演の中では一貫して「高校野球(部活動)は学校教育の一環」であることを強調され、「フェアの精神を体たお話もあり、会場の笑いを誘ってお

令和6年5月19日(日)に金亀会会を彦根東高校の木造校舎多目的ホールにて開催いたしました。久闊を叙すのため全国各地から80名以上の同窓生の方にご出席をいただきました。

金亀会総会

得する」「明朗強靱な情意を涵養する」「強靱な身体を鍛錬する」など、古くから学生野球憲章で謳われていることを理解・実践することが大切と力説されました。彦根東高校には「いつまでも何事においても全国に誇れる野球部・学校であってほしい」とエールを送っていただきました。

今年度も彦根キャッスルリゾート&スパ様の方で懇親会を開くことができました。40名を超える方々のご出席をいただきこちらの方も盛会の内に終わることができました。次回の開催については、12面の最後に案内がございますのでそちらの方を御覧ください。

なお、最後になりましたが、総会並びに懇親会の開催にあたりまして滋賀金亀会有志の方々からお手伝いいただきましたことについて、報告とお礼を申し上げます。存じます。御同窓の皆様との頃にもどって語り合える貴重な場を提供すべく事務局一同微力を尽くす所存でございますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

東海金亀会 近況報告

事務局長 川村 恒治 (東16)

***第22回東海金亀会定例総会の開催**
令和6年6月23日(日)、東海金亀会(孫工昇嗣会長、東11)定例総会を名古屋市の東京第一ホテル錦で開催しました。金亀会本部から上田健一 郎会長(東28)を、母校から伊吹直樹校長(東31)をお迎えし、会員も昨年とほぼ同じ19名の出席となりました。コロナ感染拡大前の総会では40名近くの会員の出席がありました。高年齢化もあり20名内外の出席状態が続いています。

総会では、令和5年度の事業報告、会計報告・監査報告、令和6年度の事業計画案、役員候補案が諮られ、原案通り承認されました。今期から川村恒治会長(東16)の下、17名の新たに選任された役員と共に東海金亀会活動を展開してゆくことが決まりました。そのうち藤本佳則(東20)、安食新平(東22)の両氏が新たに選任されました。

今回は気象学者、古川武彦さん(東7)による「近年の気象サービスタと地球温暖化」と題して記念講演をお願いし、大変興味深い内容の講演をいただきました。

総会終了後懇親会に移り、上田会長、伊吹校長からご祝辞を頂くと共に、上田会長からは本部や各地の金亀会の活動状況や、母校の創立150周年事業に合わせ奨学財団を設立し資金面から母校の活動、発展を支えて行く考えであること、そして伊吹校長からは母が生徒の文武両道の全国的な活躍などを報告いただきました。



その後、出席会員最長老の吉増晟さん(東7)の乾杯のご発声で、来年度は令和7年6月22日(日)に、今年と同じ東京第一ホテル錦での開催を予定しています。

*懇親ゴルフ会の開催

懇親ゴルフ会は例年春と秋の年2回開催しており、第38回が昨年5月30日(火)にさなげカントリー倶楽部(愛知県)で開催され、8名の参加で川村恒治さん(東16)が優勝されました。

また第39回が昨年度9月27日

(水)に岐阜関カントリー倶楽部(岐阜県)で開催され、7名の参加で谷内伸治さん(東12)が優勝されました。

今年度も春と秋の2回の開催を計画しています。

*歴史探訪ウォーキングの開催

毎年11月頃に年1回、東海地区の名所旧跡を訪ねる歴史探訪ウォーキングを開催しています。昨年度の第11回は11月19日(日)に「レトロの町、愛知津島を訪ねて」を開催し、9名が参加されました。

今年度も第12回を11月9日(土)に岐阜県関ケ原町を訪ね「関ヶ原合戦の史跡めぐり」を計画しています。

今後も定例総会はじめ、懇親ゴルフ会、歴史探訪ウォーキング会など各種の会員交流活動に皆さんの参加をお待ちしています。

第105回 東京金亀会 定期総会・親睦会報告

幹事長 重森 幸夫 (S47卒)

第105回東京金亀会定期総会並びに懇親会を令和6年7月13日11時からお茶の水・東京ガーデンパレス2階高千穂の間で開催致しました。今回から会場を変更し気分新たな開催、約百名の大会でした。

総会に先立ち永く会長として弊会の発展にお力添えを戴きました鷺見禎彦(すみよしひこ)様ご逝去の報告と、哀悼の意を捧げました。そして福原紀彦会長(S47卒)挨拶に続き、ご来賓の金亀会会長上田健一郎様、彦根東高校長伊吹直樹様にご挨拶を頂戴しました。

総会では福原会長の議長のもと昨年度の事業報告と決算報告の承

認、他3件の議案も全て承認を戴きました。また次年度の事業計画4件を報告し総会を終了しました。続いて今年の記念講演は元吉本興業で漫才復活の「M-1グランプリ」を企画、成功させた谷良一様(S50卒)を迎えその裏話を面白可笑しく涙あり、拝聴致しました。

そして全員の記念撮影を前に、大先輩ジャーナリストの田原総一郎様(S28卒)の90歳寿を奥村滋子副会長(S56卒)の花束贈呈でお祝いしました。また毎年特別ご厚志を頂戴している会員様には返礼の品をお贈り致しました。

いよいよ今木繁行副会長(S48卒)の乾杯で懇親会の始まり。東近江市喜多酒造様からの差入れ酒と会場飲み放題や美味しい料理を満喫し11のテーブルでは賑やかに話に花が咲きました。そして(先述)谷良一様のサイン入り著書「M-1はじめました」のプレゼン

ト抽選会、更に盛り上がりました。会場では彦根学校(現彦根東高校)を開設した外村省吾他8名を紹介した新刊書(彦根市サンライズ出版社)を特価完売しました。

また、「応援しよう近江鉄道」のコーナーでは、懐かしい駅や、懐かかな車窓風景が映し出され、幹事長福永典明氏(S44卒)司会の軽妙突撃インタビューには学生時代の沢山の思い出話がありました。



開設した弊会のホームページへのアクセスと活用を促すために仲谷博安幹事(H06卒)が解説しました。参加の皆様にはアドレス登録の協力を戴きました。

最終盤、金亀会副会長中村直樹様(S47卒)ご指導の下、彦根中学・東高校歌・応援歌・琵琶湖周航の歌を全員で斉唱しました。

大盛況のうち森崇副会長(S53卒)閉会挨拶と相成り、全て無事終了しましたこと感謝申し上げます。

次回は令和7年7月12日(土)東京ガーデンパレスで開催します。講演は、現在産経新聞東京編集局編集長として活躍の今堀守道様(S62卒)とTV業界からもゲストをお招きし、「マスメディアの現状と意義」どうなる日本のマスメディア」について熱く語っていただく予定です。

東京金亀会ホームページから申込み下さい。お待ちしております。

関西金亀会の2024年 総会&交流会、 歩こう会、ゴルフ 会長 川瀬 辰男 (東18)

あの勇壮な始業チャイムが流れます。会場のあちこちから「懐かしいなあ」の声。チャイコフスキのピアノ協奏曲第一番冒頭のメロディー。2024年10月12日、大阪市中央区のホテルで関西金亀会第12回総会&交流会の幕開けです。上は彦根中学1回生から下は東49回の約75人が学年と世代を超えて集まりました。

藤本亘彦副会長(東22回)が司会進行役を務めました。同窓会の始まりは定番、校歌斉唱。コロナ禍で中断していた「歴史街道歩

う会」を復活させ、2年に1回だった総会の毎年開催を実現させた松村正和会長(東16回)が挨拶で退任を表明。後任会長に川瀬辰男会長代行(東18回)が就任し、「60代から若手の会員仲間を増やしたい」と抱負を述べました。

特別講演は、国宝彦根城の世界遺産登録を目指す運動の地元推進役を代表して、彦根商工会議所世界遺産街作り委員長の木村泰造さん(東16回)と彦根城世界遺産登録1,000人委員長の宮川富子さん(東13回)が市民レベルの取り組みを熱く語りました。

ここで総会は終了。鳴り渡るのはあの終業チャイム。ヘンデルの「調子の良い鍛冶屋」のメロディです。

交流会は来賓の上田健一郎・金亀会会長(東28回)、伊吹直樹校長(東31回)の挨拶のあと、清水宏一・元関西金亀会会長(東4回)の乾杯の発声で始まりました。テーブルごとにビンゴゲームも行われ、大いに盛り上がりました。このあと、初めて参加した方々が登壇して自己紹介。応援歌を歌い、記念撮影をして楽しい集いを終わりました。

一方、関西金亀会の大イベント「第36回歴史街道歩こう会」は11月13日、「高槻市の今城塚古墳巡りから西国街道を歩く」のコースで開催。5月に実施の予定が悪天候予報のため中止に。仕切り直して紅葉の季節に行い、89歳になる富岡進さん(東2回)を最高齢に約75人が健脚ぶりを見せました。JR高槻駅前前で解散。学年ごとに



居酒屋に繰り出し、「打ち上げ同級会」を楽しみました。

また、春と秋の年2回開催のゴルフコンペは、4月25日に第37回10月31日に第38回コンペをそれぞれ竜王町の竜王ゴルフコースで開催。

春は上田金亀会会長、大塚恵昭・滋賀金亀会会長(東20回)ら本部役員3人を含め8組30人がダブルペリア方式で競い、角田雅之さん(東18回)が優勝。女性1位は藤原清美さん(東28回)に輝きました。

秋は常連の若松儀男さん(東2回)から東41回までの24人が6組に分かれ、寺村眞雄さん(東12回)が優勝トロフィーを手に。女性1位は久保田真由美さん(東28回)。

両大会ともベストグロス賞は春77、秋75で山口光秀さん(東14回)が獲得。いずれも見事エイジシュートを達成!

役員会や学年幹事会、歩こう会、ゴルフコンペ案内など詳しい活動内容は「関西金亀会」HPが新たに開設したFacebookをご覧ください。総会&交流会や歩こう会など、多数のご参加を期待しています。

Facebook link: https://x.gd/2m95W and a QR code.

滋賀金亀会 令和六年度報告とご案内 副会長兼事務局長 木村 泰健 (東38)

滋賀金亀会の令和6年度は、五月の金亀会総会同日に滋賀金亀会

総会を開催し「秋の集い」「赤鬼杯(ゴルフコンペ)」を開催する事ができました。

秋の集いは十一月九日、京都市の真言宗総本山・教王護国寺(東寺)に於きまして、本校出身の山田忍良氏(東24回)を講師に迎え、講演会と親睦会を開催いたしました。

東寺では五重塔の特別拝観も含め境内をご案内いただき、講演では開始前に同窓生の物故者への読経をしていただき、山田氏の東高時代の思い出、仏の道に進まれたきっかけ、生きることの大切さなどをお話しいただきました。

二年ぶりの開催となった赤鬼杯(ゴルフコンペ)では最年少参加者の小森正平さん(東定48回)が優勝されました。



「秋の集い」「赤鬼杯」ともに来年度はより多くの会員様に参加いただけますよう努めて参ります。滋賀金亀会は今後も会員相互の交流を中心に金亀会・彦根東高等学校の発展に寄与していきたいと考えておりますので、会員の皆様におかれましてはより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。滋賀金亀会では、滋賀県下にお

住まい又はお勤めの卒業生はどんなでも入会(年会費1,000円が必要)できます。「秋の集い」など各事業の案内を送らせていただきますので、ぜひこの機会にお誘い合わせの上、ご入会ください。入会を希望される方は、次の連絡先まで、お名前と卒業年度を記入しお送りください。折り返し滋賀金亀会案内をお送りします。

第17回 卒業生 『月もう一度 逢いたい』会 若林一誠 (東17)

令和6年5月26日(日)11時、母校の正門に約40名が集合しました。母校の吹奏楽部の部員が来てくれ、多目的ホールに案内して頂き、11時過ぎから吹奏楽部の演奏を聴きました。校歌、そして応援歌等の演奏を聴かせて頂きました。続けて、同級生の高橋邦男君が吹奏楽部の先輩として、顧問の先生になつたつもりで、校歌演奏の指揮棒を振るなどの飛び入りもありました。演奏後、藤居正博委員長がお礼を申し上げ、彦根駅東口の会場・ベルテフォーリアに移動。昨年(令和5年)の同窓会は、同年5月26日(金)11時から、「滋賀県立彦根東高等学校第17回卒業生の集い・最終回」を開催し、その時は、70名の参加がありました。また参加できない旨の返信が来

た約200名から寄せられました「コメント」を「コメント集」に纏め、その「コメント集」を手渡すなり、郵送しました。その反響たるや、嬉しいもので、「最終回」と言わずに、もっとやってほしい。「今年は出られなかったが次は参加する」とか「実行委員」を泣かせる言葉が多く寄せられ、委員会で協議した結果、続けて令和6年5月26日再開の運びとなりました。但し、昨年「最終回」と銘を打った手前、名称変更で対応することとなり、『月もう一度逢いたい』会という名称にして開催しました。参加者は61名でした。



藤居委員長挨拶の後、北山緑さんの「一言と乾杯の音頭」で『月もう一度逢いたい』会がスタートしました。昨年欠席で今年参加された人達からの「一言二言」やギター演奏を北川定君と横田敏君がしてくれ、女子会(参加者19名)の場も設けてましたところ、いろんな話題に花が咲いた様で和やかな一時となりました。また、『月もう一度逢いたい』会の源となった八代重紀さん「もう一度逢いたい」を皆で合唱し、川上建司副委員長作成「もう一度逢いたい・替歌」を唄うなど楽しい一時でした。余興として、その会場にいた皆さんに童心に帰って貰う為に「ジャンケンポン大会」なるものもしましたところ、大いに盛り上がりたことは言うに及びません。

参加記念品として松居清恵さん(東16)の母校の関連したスケッチ画・ポストカードを参加者全員にお渡ししました。

約6時間に亘る『月もう一度逢いたい会』も、亀山直子さんの「締め言葉」で、会もお開きになりましたが、最後、皆さんにアンケートをお願いしました。

「母校の吹奏楽部の演奏が聴けてよかった」、また「機会があれば聴きたい」とか、「生きてる限り皆さんと会える機会を続けて欲しい」、などなど委員会のメンバーを喜ばせる言葉が多く寄せられました。

“来年は来年の風が吹く”ということで、来年の開催の有無については月1回の情報交換会・呑み会“酒の肴”にしつつ、楽しみたいと考えています。

第29回 卒業生同窓会

「ふくの会2024」報告

前出博幸(東29)

6年半ぶり4度目の全体同窓会を、5月7日に都ホテル京都八条の陽明殿に於いて開催しました。学友130名と恩師3名が集いました。まずは会場での全員の記念写真撮影、その後宴会会場設営が完了後に安田良介君と奥川明子さんの司会で始まり、今日の日を迎へられずにご逝去されました恩師同窓生を追悼した後、本年元旦に起こった能登半島地震で被災された同級生へのお見舞箱の設置の案内、校歌斉唱を行った後、幹事前出博幸の挨拶、市川源一先生による乾杯のご発声とチャイコフスキーのピアノ協奏曲の始業の合図で宴はスタートとなりました。今回はクラスの壁を取り払い

ラガラボンで席を決めました。月日が流れても、同じ時間・同じ体験を過ごした仲間との再会は瞬時に高校時代に戻ったかのように各テーブルでの歓談が始まりました。また歓談の最中には今回出席して頂いた恩師4名の特別講座で



彦根東高校第29回卒業同窓会「29の会」
2024年5月4日 於 京都 新・都ホテル

すばらしいお話も頂きました。後半では自ら手を挙げた同級生の自分や自社のPRタイムや金亀会からは彦根東高校創立150周年(2026年(R8年))について紹介などがあり、母校愛が溢れる楽しい幸せな時間が流れていきました。

最後に本持真二君のリードで応援歌を斉唱し、次回幹事長に指名された安居継彦君の力強い決意表明を聴き、次回再会を固く約束して都大路を後にしました。

第31回 卒業生同窓会報告

幹事代表

辻村欣也(東31)

令和6年8月12日(月)に彦根駅前前のマリアーージュ彦根にて、還暦の節目を祝う同窓会を開催しました。同窓会には、95名の旧友が集まり、また、7名の恩師の先生

方にもご臨席いただきました。同窓会は、参加者全員による写真撮影を行った後、現在の彦根東高校の学校長(31回卒業生)による挨拶でスタートしました。その後、校歌斉唱や旧友との昔話に花を咲かせ、また、ご臨席の7名の恩師の先生から、当時の授業のエピソードなどをお話しいただきました。

マリアーージュ彦根では、1次会だけでなく、2次会も企画しました。その後、彦根や近江八幡市内において、3次会等も開催された模様です。

次回の同窓会は、今回のじゃんけんゲームの勝者である5組の方が幹事となります。次回の同窓会も、今から楽しみで



第32回 40周年同窓会報告

幹事 三輪祐子(東32)

穏やかな冬晴れに恵まれた2025年1月3日、マリアーージュ彦根において40周年の同窓会を開催しました。今回は還暦の節目を祝う会とあつて、105名の同窓生が全国(海外含む)から集い、また西川常雄先生、前田和義先生、森本純先生と3名の恩師にご臨席いただく華やかな会となりました。

当日はロビーでの受付後1次会場へ移動し、ガラスの階段をバツクに集合写真を撮りました。12時より1次会がスタート。開会の辞、亡くなった同窓生への黙祷、続いて校歌斉唱を行いました。3名の先生方からはお一人ずつ祝辞をいただきました。ご自身の近況や東高時代の思い出などを話されたのですが、そのお話しぶりに先生らしさがあふれていて、一気に40年前に戻ったような心地になりました。西川先生や前田先生がそれぞれ巳年生まれであることは驚きでした。その後、代表幹事の北村宇一郎さんから挨拶&乾杯の音頭。食事をしながらの歓談の時間により、終始会場は楽しい司会進行で、デジタルユニットで選ばれた各クラスの代表が自己紹介をするというドキドキの出し物も行われました。その後、現彦根東高校教員の辰巳(塚本)ゆかりさんからの挨拶。現在の東高の様子を話してもらい、変わっているところや変わっていないところが聞けて、非常に興味深く感じました。

2次会には87名が参加。普段なかなか会えない様々な友人と歓談。写真を撮ったり、ルーレット自己紹介の続きをしたりと賑やかなひとときを過ごしました。閉会后、有志は3次会、4次会と存分に旧交をあたためました。



今回特にツールのデジタル化を活用し、作業の省力化や情報共有、イベント実施等に力を入れました。二次元コードによる出欠確認やコメントの回収、デジタルしおりの作成、イベントでのルーレットや写真の共有等々。出席されなかった恩師や同窓生の近況等もわかり大変いい取組になったと思います。同窓生とのあたたかい繋がりを糧に、医者になられた同窓生の健康に関する貴重なアドバイスを実践しつつ、また多くの笑顔にお会いすることを楽しみにしたいと思います。

東46回 卒同窓会作戦会議

幹事 北川雄士(東46)

2025年になつたばかりの1月3日(金)、里帰り中の人も交えて、築90年の古民家(当社オフィス)に15名+2先生が集まり、学年全体同窓会の作戦会議を開催しました。

3年間学年主任でいらした寺村銀一郎先生と、同じく3年間担任団にいてくださり、おそらく多世代に渡り(?!?)名物授業をしてくださった西野耕司先生にお越しいただきました。大御所先生お二人を、ゲストではなく、運営側の仲間としてお迎えするという大変贅沢な日になりました。

当日は近況の共有をしながら、学年全体に案内するたにどう集めようかと話す中で、公式LINE



を立ち上げて集めるアイデアが
出ました。立ち上げから1ヶ月でな
んと360名中130名の登録を
集める事ができています。同級生
の方で本誌を読まれた方は、ぜひ
隣にあるQRコードから登録くだ
さい！詳細の案内
を投げさせてもら
います！！



東71回卒 同窓会報告

豊田 一颯 (東71)

令和7年1月11日(土)に彦根
東高校71期生の同窓会を開催しま
した。2023年3月に卒業した
私たちも、早いもので、成人式を
迎えることになり、これを機に同
窓会を開きました。

会には約200人が集まり、6
名の先生方にもご参加いただきま
した。みな、旧友との再会に心を
躍らせ、学生時代の思い出や近況
報告などの歓談を楽しみました。
会の途中にはピング大会を開催し、
大いに盛り
会となり
ました。
また、お
世話にな
った先生
に改めて
感謝の言
葉を伝え
る場面も
多く見ら
れ、みん
なにとつ
て感慨深
い時間と
なりまし
た。同窓
会の最後



には、全員で記念写真を撮影し、
再会を誓い合いました。

改めて友情の大切さを実感し、
これからもこの絆を大切にしてい
きたいと思われました。今回は成人
式を機に同窓会を開きましたが、
次回も多くの仲間が集まれるよう
計画を立てていきたいと思ってい
ます。再び全員で集まり、また楽
しいひと時を過ごせる日を楽しみ
にしています。

デジタル史料館より

大公孫樹あるいは大銀杏

彦中三十一回卒業生

昨年、令和六年(二〇二四年)
十月に、「中村吉治」と記された
墨書原稿が多数入った木箱が、母
校に寄せられました。

史料館所蔵の手書きの『同窓会
名簿』には、「彦中三十一回卒業
生」(大正八年一九一九年三月
卒)の箇所に、中村吉治、神埼郡
五峰村林と住所が記載され、進学
先は慶應義塾、さらに別の手で、
「昭和二十年五月五日、ビルマに
て戦死」と、添え書きされていた
ました。四十三歳での戦死だったと
思われます。

この木箱中には、未使用の「彦
根中学校校友会原稿用紙」があり
ました。これは、母校には残され
ていませんでした。「綴同窓会」
の原稿用紙もありました。

さらに複数の墨書原稿は、氏の
生家と東京との深い関わりを示し
ており、『能登川町史』(昭和五十
一年一九七六年刊行)には、東京
日本橋にて綿布を商っていたこと
が、記されています。

さらに『同窓会名簿』に記載さ
れた彦中三十一回卒業生の中に、
洋画家であり歌人でもあった「野

口謙藏」氏を見つけることができ
ます。

野口氏の経歴は、昭和二十三年
に刊行された『遺歌集 凍雪 野
口謙藏』に詳しく記載されており、
蒲生郡桜川村字綺田の、山梨県に
て酒造業を営む素封家に生まれ、
中学校入学と同時に金澤金助教諭
宅に下宿された、と記されていま
す。大正六年(一九一七年)十一
月に母校を大本営とし、大正天皇
の「御座所」も設けられた、陸軍
特別大演習時に、天覧品として陳
列された学業成績品の中で「御持
廻りの御沙汰」があった作品の中
に当時四年生であった野口氏の絵
画があったことは、よく知られて
います(『彦根東高百二十年史』)

中村氏が下宿されたか、どうか
は、不明ですが、以下に紹介する
『公孫樹下より』と題された長編
詩から、校内に設置されていた寄
宿舍に入っておられたのでは、と
推測できます。寄宿舎は、現在の
御座所とテニスコートの辺りにあ
りました。明治二十二年(一八八
九年)に、母校創設の地である五
番町より移築され、以後二度の改
築を経て、昭和七年(一九三二
年)に閉寮、廃止されています。

中村氏と野口氏のお顔は、同じ
彦中三十一回卒の音瀬卯平氏所蔵
で、現在史料館にて保管中のアル
バムにより確認することができます。

現校歌と大公孫樹

母校の現在の校歌(昭和二十八
年制定)には、シンボル樹であつ
た「大銀杏」が詠み込まれていま
す。作詞者は、東京農大教授を辞
し、母校の理科講師となつた彦中
二十九回卒(大正六年一九一七
年)の吉田精一氏。作曲者は、そ
の友人であつた古関裕而氏である
ことは、周知のことだと思ひます。

吉田精一氏は、『彦根東高新聞』
第二六号において、新しい校歌は
「僕達と縁の深い銀杏を主題とし
たものである。」と、新聞部員の
取材に応じて語っています

平瀬作五郎先生と銀杏樹のこと

帝国大学理科大学の助手時代に
「銀杏の精子」を発見された平瀬
作五郎先生は、明治三十年(一八
九七年)から三十七年(一九〇四
年)まで母校(教諭心得として着
任時は、滋賀県尋常中学校、明治
三十四年に滋賀県立第一中学校
と改称)において、教科「博物」
と「図画」を担当しておられまし
た。先生が母校に、何故、赴任さ
れたかは、現在も不明のようです
(末松四郎・末松修『いちよう物
語』金亀会・昭和四六年一九七一
年、本間健彦『イチョウ精子発見
の検証 平瀬作五郎の生涯』新泉
社二〇〇四年)。

平瀬先生が、「図画」の授業で
用いられた教科書は、先生が執筆
された、『中等教育 用器書法透
視書法之部』(成美堂書店明治二
十八年訂正再版)および『中等教
育 用器書法解説 透視書法之
部』(東京成美堂明治三十二年第
五版)でした。この二冊の教科書
は、平瀬先生の教えを受けた彦中
十五回卒(明治三六年一九〇三
年)の柴田善作氏から母校に寄贈
され、史料館にて保存しています。

その先生が第二回学士院恩賜賞
を受賞されたのは、明治四十五年
(一九一二年)のことです。母校
在職中、グラウンドの銀杏樹を、
「先生は見ようとしなかつた。」
との、当時の生徒の回想は、あり
ますが、母校において祝賀会が催
され、その記念写真も残されてい
ます。このことを契機に、生徒の
銀杏樹への思いも、より深まった
のでは、と思われまます。

そうした思いを、「綴同窓会」原
稿用紙に記された中村吉治氏の長
編詩『公孫樹下より』を一
読される
ことによ
って、想
起して頂
ければ、
と思いま
す。



その後の大銀杏

嘗てはグラウンドの隅にそびえ
ていた大公孫樹、大銀杏は、校舎
改築により中庭に位置することに
なり、その工事の影響か、次第に
樹勢を失い、昭和四十五年(一九
七〇年)に枯死、翌年に伐採され
ました。しかし、大銀杏を懐かし
む声は多く、昭和四八年(一九七
三年)、同窓生により記念碑が建
てられ、同じ地に、親樹の実から
芽を出した二世樹が植樹されたの
は、昭和五〇年(一九七五年)の
ことです。今、二世樹は、親樹の
ように大きく育ちつつあります
(『彦根東高百二十年史』)。

長編詩『公孫樹下より』は、紙
面の都合上、金亀会
HPにての公開にさ
せていただきます。
是非ご覧ください。



史料館への新たな寄贈図書

なお史料館に、サンライズ出版
の彦根東十四回卒岩根順子代表か
ら、外村省吾初代校長をはじめと
して、母校の創設発展に寄与され
た人達等を描いた野田浩子・井上
幸治共著『明治の旧彦根藩士達』
および東近江市博物館構想推進課
編『野口謙蔵日記 帰雨来 一』
をご寄贈頂いたことを、この誌面
にて紹介させていただきます。

●部活動

◆水泳部

【第78回近畿高等学校選手権水泳競技大会出場】
 女子2000m背泳ぎ
 縄田 芽衣
 女子4000m自由形
 縄田 芽衣
 女子2000m平泳ぎ
 安村 優希

【第8回近畿高等学校新人水泳競技大会出場】
 男子50mバタフライ 雪丸 恵佑
 女子50m平泳ぎ 安村 優希
 女子50m平泳ぎ 小南沙也香
 女子4000m自由形 縄田 芽衣

◆卓球部

【第78回近畿高等学校卓球選手権大会出場】
 男子学校対抗
 藤本 悠司 岡野幸太郎
 熊谷 政宗 伊藤 樹希
 田原 未徠 片山 拓音
 長島 諒弥 脇 充希

女子学校対抗
 井本 早紀 相葉奈緒子
 藤岡 紋奈 河合 莉那
 木下こころ 柳本 愛里
 宮村 叶愛 杉本 唯花

【第39回近畿高等学校新人卓球大会出場】
 男子学校対抗
 脇 充希 田原 未徠
 長島 諒弥 熊谷 政宗
 西村 理一 片山 拓音
 吉村 優輝 中川 心月
 女子学校対抗
 相葉奈緒子 藤岡 紋奈

◆ホー卜部

徳山彩花梨 田邊 美涼
 川瀬 由維 谷口ももか
 柳本 愛里 木下こころ

【令和6年度近畿高等学校総合体育大会兼第74回近畿高等学校ローイング選手権大会出場】
 女子舵手付きクオドルブル 2位
 森田 歩凜 細江 文香
 山下 芽吹 久保田真以
 西川 穂翔

男子シングルスカル
 永田 元輝 甲斐 伊織

【SAGA2024国スポ出場】
 少年女子舵手つきクオドルブル 7位
 久保田真以

【全国高等学校選抜ローイング大会近畿地区予選会】
 男子ダブルスカル
 藤本 颯太 永田 元輝
 吉田 朝陽

男子舵手つきクオドルブル
 堀 匠翔 長谷 一平
 増田 武尊 市井 晶也
 前田 佳佑 北 温輝
 岩崎 貫汰

◆陸上部

【第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会近畿地区予選会出場】
 男子走り高跳び 和田 悠汰
 男子4000m 矢野 結惺
 男子8000m 田辺 侑大
 男子1500m 八若 桜太
 女子円盤投げ 田辺 侑大
 男子4×1000mリレー 木谷 茉央
 藤田瑛太郎 山田 敦輝
 北岸 功至 宮川 善貴
 山田 大悟 前田龍太郎
 男子4×4000mリレー

◆第57回近畿高等学校ユース対校選手権大会出場】

矢野 結惺 北岸 功至
 小林 直樹 宮川 善貴
 川嶋 鈴斗 北川 陸駆

男子砲丸投げ 藤原 時斗
 男子1500m 平尾 昂士
 男子3000mSC 平尾 昂士
 女子円盤投げ 木谷 莉緒
 女子走高跳び 西田 三侑

◆スポーツクライミング

【第29回近畿高等学校スポーツクライミング大会出場】
 中川 雄心

◆囲碁部

【第18回全国高等学校囲碁選抜大会出場】
 女子団体戦 準優勝
 井上 葉月 藤川 侑生
 松宮 結愛 田附 咲良
 女子個人戦 第5位 井上 葉月

【第48回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会出場】
 個人戦
 男子 松本 菱汰 村田隆結貴
 女子 井上 葉月 藤川 侑生
 男子団体戦
 松本 菱汰 村田隆結貴
 小山 亮 高森慶多郎
 女子団体戦 第4位
 井上 葉月 藤川 侑生
 松宮 結愛 塚田 梨乃

【第48回全国高等学校総合文化祭囲碁部門出場】
 女子個人戦 第7位 井上 葉月
 団体戦
 松本 菱汰 村田隆結貴
 藤川 侑生

◆男子個人戦

男子個人戦 小山 亮 後藤 光基
 女子個人戦 井上 葉月 準優勝

男女団体戦 準優勝 田中 紬
 男子団体戦 第4位
 高森慶多郎
 女子団体戦 準優勝
 塚田 梨乃 田附 咲良

◆女子個人戦

【第13回近畿高校囲碁選手権大会】
 個人戦
 男子 小山 亮 第7位
 高橋 隼 第3位
 女子 井上 葉月 第8位
 塚田 梨乃 第8位
 田中 紬

◆9路盤戦

男子 高森慶多郎 第6位
 女子 木下 果凜
 男子団体戦 第6位
 小山 亮 高森慶多郎
 高橋 隼 後藤 光基
 女子団体戦 第3位
 井上 葉月 塚田 梨乃
 田中 紬 木下 果凜

◆将棋部

【第44回近畿高等学校総合文化祭福井大会将棋部門出場】
 個人戦男子
 A級 大谷 悠稀
 B級 岡村 海
 個人戦女子
 A級 山口 和花 横江 美葵

【第28回全国高校新聞年間紙面審査賞】
 優秀賞
 【第48回全国高等学校総合文化祭新聞部門出場】

◆吹奏楽部

【第44回近畿高等学校総合文化祭福井大会新聞部門出場】

【第37回中部日本個人・重奏コンテスト本大会出場】
 個人の部 荒井 遥陽

◆箏曲部

【第48回全国高等学校総合文化祭日本音楽部門出場】
 岩井 琴美 奥村 美音
 箕浦 結美 山高 愛莉
 山出 陽菜 渡邊 栞七
 加藤 咲樹 池本 怜由
 上段 緋依 金子 颯希
 中川はる佳 中澤 知音
 野瀬 吏央 三宅 舞
 喜友名サマンタ 福田 沙笑
 堀 愛実

◆文芸部

【第48回全国高等学校総合文化祭文芸部門参加】
 部誌部門 村山 友月
 詩部門 木村実有那
 俳句部門 近藤菜々美

◆GS部

【第48回全国高等学校総合文化祭自然科学部門出場】
 自然科学部門 文化庁長官賞（優秀賞）
 全国2位
 高山 涼太 藤島凜太郎
 久保川照音 福田 絢望

◆化学班

竹内 春馬 伊藤 大晟
 大橋 快成

母校だよ

● GSI推進課より

本校では、社会課題などに関わるひとつのテーマをもとに、複数の教科・科目の教員が協働して授業を行う「教科融合授業」を行っています。令和元年度の「感染症」からスタートし、本年度は第6弾として半導体をテーマにした「半導体を知り、未来を拓く」と題した授業を、GS (Global Science) コースを中心に実施しました。情報・理科(物理、化学)・数学・公共の6名の教員が、演示実験やグループ実験を取り入れ、生徒全員が持っているタブレット端末を活用して議論をするなど、2時間の授業を構成しました。12月には、PLIJ (*1) の協力のもとパナソニックホールディングス株式会社より半導体技術者を招いて、授業後に1時間の講演会を行いました。生徒からは「半導体とはどのような性質のもので、私たちの生活にどう関わっているのかよく分かった。」「半導体を使ったロボット技術に関心が深まった。進路選択に活かしたい。」「AIが普及する未来において、人としてどう社会と向き合うか大切だと感じた。」などの感想が集まりました。これらの授業を通じて生徒達は、現代社会におけるさまざまな社会課題の解決や、AIが高度に発展する時代に多様な幸せ (Well-being) を実現するために多角的・俯瞰的に物事を捉え解決する力、さらには総合的な探究力を育んでいます。また、本校では従来の学力に加えて、このような力を培うことを大切にしています。この「教科融合授業」の取組は、

STIAM教育(*2)の実践例のひとつとして他校からも大いに注目されており、全国の多くの学校にて自由に使ってもらえるようPLIJのプラットフォームに教材などを掲載しています。今後も社会課題などに関わるテーマでの教材開発を進めていきます。(*1) 産学官公教が連携してSTIAM教育を推進し、次世代の人材育成を目的とする東京大学生産技術研究所内にある一般社団法人 (*2) Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematics の5つの領域を対象とする理数教育と創造性教育の教育理念



半導体に関する融合授業の様子

● 進路指導課より

新カリキュラムが導入されて3年目となり、今年の入試からまた大きな変更がなされました。新カリキュラムに合わせた共通テストの変更です。

一つ目は「情報」という教科の新設です。ただ、この「情報」という教科は、浪人生たちが学んできた内容と現役生が学んでいる内容には相当な違いがあり、また難易も異なることから移行措置として別問題となりややこしい事態です。二つ目は「国語」のなかにも、まるで情報処理のような問題が1題付け加わり、グラフの読み取りや法律の条文などの資料などが組み合わされた形の問題も出題されます。「情報」も「国語」の新傾向の問題も現実にはどんな問題が出るのか分からないなかで手探りの対策で困った一年でした。内容的にはさほど難しいものではなくとも、受験生は初めてのものに対してうまく対応できない者もいて実力通りの点数が取れるのかかなり心配をしております。三つ目は

「数学」の時間が二科目とも十分ずつ長くなり、より出題内容の把握に時間がかかる問題が出題されてきます。そのうえで、国公立大の二次試験や私立大学の入試問題が新カリキュラムにきちんと対応しているかもまったく不透明で、こういう変革途中の受験生は過重な負担を強いられた一年となりました。ただ、どれほど入試の形態をいじっても、日本の入試文化の背景にある一点刻みの点数による合否判定のあり方も公平な競争という観点が強固でそう簡単に変わりそうになく、知識偏重のあり方もそれほど緩和されそうにもなく、やや空回りの感は否めません。そのバランスを十分に見通しながら進路指導をすることを肝に銘じています。

令和6年度 大学合格者数

() 内は令和6年3月卒の現役

| | | | | | |
|---------|----|--------|-----|-------|--|
| 国公立大学 | | 東京都立大 | 1 | | |
| 北海道大 | 1 | 岐阜大 | 3 | (3) | |
| 筑波大 | 2 | 名古屋市立大 | 2 | (2) | |
| 千葉大 | 3 | 滋賀県立大 | 15 | (14) | |
| お茶の水女子大 | 1 | 京都府立大 | 3 | (3) | |
| 東京大 | 0 | 大阪公立大 | 20 | (15) | |
| 東京工業大 | 1 | 国公立大合計 | 221 | (184) | |
| 一橋大 | 1 | | | | |
| 横浜国立大 | 2 | 私立大学 | | | |
| 富山大 | 5 | 慶応大 | 3 | | |
| 金沢大 | 15 | 上智大 | 3 | (3) | |
| 福井大 | 4 | 東京理大 | 4 | (1) | |
| 信州大 | 4 | 明治大 | 1 | | |
| 岐阜大 | 4 | 早稲田大 | 4 | (4) | |
| 静岡大 | 5 | 京都産業大 | 37 | (32) | |
| 名古屋大 | 5 | 京都女子大 | 16 | (12) | |
| 名古屋工大 | 7 | 京都橘大 | 31 | (31) | |
| 滋賀大 | 14 | 京都薬大 | 16 | (14) | |
| 滋賀医大 | 7 | 同志社大 | 103 | (83) | |
| 京都大 | 8 | 同志社女子大 | 17 | (17) | |
| 京都教育大 | 4 | 佛教大 | 24 | (23) | |
| 京都工芸繊維大 | 7 | 立命館大 | 314 | (254) | |
| 大阪大 | 13 | 龍谷大 | 143 | (126) | |
| 神戸大 | 14 | 関西大 | 21 | (17) | |
| 奈良女子大 | 1 | 近畿大 | 56 | (41) | |
| 岡山女大 | 3 | 関西学院大 | 29 | (24) | |
| 広島大 | 10 | 私立大合計 | 953 | (793) | |
| 九州大 | 5 | | | | |

訃報

【元金亀会長】
中村 善一郎
【旧職員】
北川 秋雄 栗原 久雄
謹んで哀悼の意を表します。

金亀会事務局より

◎令和6年度版金亀会名簿等の販売について(本校事務局の在庫を購入する場合)
現在、金亀会では令和6年度(2024年度)版の名簿を作成しております。事務局の在庫をお求めになる場合は、価格は送料込みで4,600円、送料抜きですと4,200円です。令和6年6月中旬より、事務局の方でも販売しております。なお、在庫としては200部ほどを保存する予定ですので、なくなり次第販売は終了とさせていただきます。購入方法については、「販売方法」の所を御覧下さい。なお、彦根東高校金亀会は、名簿等に関する業務を株式会社サラトに委託しております。名簿等に関する郵便物はサラトより発送されます。

◎150周年記念事業等について

現在彦根東高校では、創立150周年記念事業の準備に関わる委員会を立ち上げ、来る2026年に向けて協議を重ねております。部活動の招待記念試合などの様々な事業や、募金活動の準備などに取り組んでおります。この詳細については、同封の金亀会報特別号にて告知しています。

◎会報掲載について

金亀会事務局では、会報に掲載する原稿や学校のHPに掲載する記事を募集しております。同窓会をされた場合、その写真や記事を

チャンスの女神は前髪しかない

TBSテレビ勤務

(彦根東高 剣道部副主将・東京大学 剣道部主将)

若原 誉起 (東55)

東京で「滋賀出身」と言うと「琵琶湖！」以上の反応はないものの、「彦根東」と答えると「名門!」「甲子園の!」と興奮気味な方が増え、母校の勢いを感じる今日この頃です。「過去、いつに戻りたい?」と聞かれたら、間違いなく「東高生」と答えます。

入学のきっかけは剣道部杉浦先生(当時)です。小学校時代から師と仰ぎ、インターハイ出場を掲げて入学。剣道漬けの日々は熾烈を極め、合宿では何度意識が飛んだことか:「高校に戻りたい」ものの、あのキツさをもう一度は正直嫌です(笑)。

「チャンスの女神は前髪しかない」先生に頂いた中で大好きな箴言です。準備を怠らず、その瞬間が巡ってきたら先手で掴む。1日出場は叶いませんでしたが、死に物狂いの日々は間違いなく青春でした。



高校生活も楽しかった。音源一新で東高体操を文化祭で披露したり(まさか黄色い声援を浴びるとは)、体育祭後の琵琶湖でカプル5組を仲人したり(团长若原は100人に見守られ玉砕)。一方勉強は不真面目で、「いかに先生の目を掻い潜り部活に備えるか」に注力。鍛えれば極まるもので、10名程居眠りで怒られる中、無事回避したのは訓練の賜物です。(この場を借りてお詫び申し上げます)。

そんな私も、オープンキャンパスを

契機に「東大に行きたい」と身の程知らず高3夏に決意。職員室前の例の机を独占して勉強し、伊吹先生(当時)からは「大学への数学」を頂戴しました。先生との思い出で、授業中に突如始まる全員アンケートは外せません。「『くせん』『女王の教室』どちらが良い教師か?」などワクワクは数学以上でした。

猛勉強も13点足りず不合格。両親に頭を下げ1年の浪人の末、理科一類に合格します。正直「なんで私が東大に?」を地でいく喜びで、剣道ではなし得なかった「頂点の風景」を見られた気がします。

「どこでもドアを作る!」と意気込んで赤門を潜るも周りの異次元の天才達に挫折を味わい、早々に部活とバイトが軸足になりました。東大剣道部では主将を拝命。私の代で全国出場はならずも(前後の代は出場し私は非常に肩身が狭い)もがいた4年間。バイトは和民ですが店長代理まで登り詰め、所属店が関東チャンピオンを獲得したので、大目に見て頂ければ幸いです。

9割が院進学の工学部で、教授の白い目に耐え就活もしました。面接7回で勝ち取ったTBS内定も、1.5単位足らず即座に返上(今もよく単位を計算する夢をみます)。翌2013年TBSに無事入社します。配属は「オールスター感謝祭」「音楽の日」など演芸畑。1年目「びつたんこカン☆カン」で、中井貴一さん、広末涼子さん、安住紳一郎アナと彦根城や総合運動場を



巡り、地元に錦を飾りました。城好き安住アナと「足軽の気持ち味わう」と朝練場所だった石段を駆け降りたのはいい思い出です。

幸運にも「東大王」でプロデューサーも務めました(東大をやっと少しは仕事に活かせた。番組は会社のようなもので、Pはまさに社長。判断1つで200人が路頭に迷う緊張感の傍ら、攻めも仕掛け続ける刺激ある毎日でした。「半沢直樹」のような社会現象はなかったものの、クイズ王伊沢くんや鈴木光さんなどのスターが素人の頃(私はAD)から番組卒業まで(その時はP)、共に成長させてもらっています。彦根東高クイズ研究会も期待していますよ。

その後は編成などを経て、現在は営業推進部でCMセールの最前線でアキレス腱パンパンの日々を送っています。



もうお気づきでしょうか? 東大やTBSは目立ちますが、実は「まだ何の功績もない」ただのOne of Themです。でも「常に熱く120%」でもありました。暗い話題ばかりのテレビ業界ですが、原稿を書きながら「私の火は消えてない」と再認識しました。杉浦先生に卒部後「インターハイの悔しさや反省は、明日からに活かせばいい」とお言葉を頂戴しました。火を絶やさずチャンスの女神の前髪を鷲掴み出来るよう、東京でがむしゃらにもがいてきます。

(事務局より) 40000字超えの「チャンスの女神は前髪しかない(完全版)」は、金亀会HPに掲載中です。是非ご一読ください。



令和7年度

金亀会総会

滋賀金亀会総会

●日時 令和7年5月18日(日)

(受付12時45分)

13時15分 滋賀金亀会総会

14時 総会

15時 記念講演会

●場所 滋賀県立彦根東高等学校

木造校舎棟 多目的ホール

●講演

演題 『運命は自分がつくる』

講師 真言宗総本山 教王護国寺(東寺) 僧侶 教学部長・法務部長 責任役員

山田 忍良氏(東24)

(敦司)



17時より

*懇親会

彦根キャッスルリゾート&スパ
0749-2112001
10,000円(当日徴収)